

学校だより 9月号

令和5年9月1日(金)

# 「誇・光・力」錦江中!



## 手間隙をかける 誠心誠意向き合う 出会いを大事にする

校長 平國 弘明

いよいよ2学期が始まる。そこで、夏休みを含めたこれまでを振り返ったときに、任されたことややらなくてはいけないことに手間隙(てまひま)をかけたり、誠心誠意向き合ったりしているか。宿題や作業や仕事などを適当に済ませたり、いいかげんで終わらせたり、手を抜いたり、さぼったりしてしまったことはなかっただろうか。

日本初の豪華寝台列車「ななつ星in九州」をはじめ、JR九州の車両の数々のデザインを手がけ、列車デザインに革命をもたらしたと言われる水戸岡鋭治さん(昭和22年生)。水戸岡さんは高校卒業後、希望するデザイン会社に就職。入社当初はデザインの仕事はさせてもらえず、ひたすら先輩の手伝い。その中で、サンプル帳(建築資材など商品そのものを切り貼りして1冊の本にまとめたもの。お客様に商品の色や質感を確認してもらうために使用されている)を必要部数、すべて手づくりされた。パソコン等のない時代なので、それは膨大な時間とサンプルを必要とする作業であり、そのことがデザインの基礎を培うことになったと語られている。「このような逃げ出したくなるほどの手間暇かかる仕事に立ち向かい、自分を鍛え続けることがその後の人生で最も大切な部分を築く」ことをご自分の経験から学ばれた。



3年後、社長さんの勧めでイタリア・ミラノのデザイン会社に3ヶ月勤めた後、1年半をかけて、ヨーロッパ中を巡り、日本ではけっして見ることのない景色に出会われる。帰国後、25歳で会社を設立。すぐにはデザインの仕事は来るはずもなく、百科事典のイラストや建物の完成予想図などイラストに関わる仕事はすべて請負い、期限・品質・予算を必ず守り、依頼主の期待を上回るモノを提供することで、また仕事の依頼を受けた。その繰り返しにより次第に仕事が増えていった。「いただいた仕事に手を抜くことなく、誠心誠意向き合うことにより、やがて、必ず認めてくれる人が現れ、自然と道が拓けていった」と。5、6年後、会社は軌道に載る。ただイラストの仕事だけでは社員を雇っていくことに限界が見えてくる。そんなとき、転機が訪れる。「ホテル海の中道」のアートディレクション(空間やユニホーム、食器に至るまでデザイン)することになり、それが好評を博した。このことをきっかけに鉄道デザインの道が開け、これまでの常識を覆すその独創的なデザインや素材活用等により、デザイナーとしての確固たる地位を築かれていく。

水戸岡さんは自らのデザイナー人生を振り返って、こうもおっしゃっている。「出逢いによって形づくられてきた。」と。高校卒業後、選んだ仕事先は、小6のときに「こういう仕事をしたい」と感じさせた船の完成予想図を手がけた会社。前出の初めて見たヨーロッパの風景がのちの鉄道デザインに生かされ、「ホテル海の中道」の開業を知らせるポスターづくりだけを請け負うはずだったが、依頼主から「本当にしたいことは？」と問われ、戸惑いつつも「デザインがしたい」と答えたことで、それを任せられ、イラストレーターからデザイナーの道が開ける。さらには、このホテルの開業パーティーで偶然隣の席だった、当時のJR九州社長、石井幸孝(いしいよしたか)さんの「日本の鉄道をどう思うか？」との問いに、「かつこ悪い、ダサイ」と正直に答えたことで、JR九州の車両デザインのオファーを受けたのである。

出逢いと物事に向き合う誠実な姿勢が次のよき縁につながり、未来が切り拓かれていったのである。これから、どうあるべきか、参考になる話ではないだろうか。

## 2学期も成長し、結果を出そう

2学期は、最も長い学期であり、教育実践・活動充実期である。また、後半においては、成果と課題を確認し、次年度に向けた準備を始める時期ともなる。保護者の方も地域もそして、自分自身も満足できる2学期にしよう。以下の10のことについては、特にしっかりと実践しよう。みなさんの進化と成長を期待する。保護者、地域の皆様、生徒への声かけや見守り、援助を2学期もよろしくお願いします。

- 1 中学校生活の意義や目的の理解を深め、礼儀正しさや品格、立ち居振る舞いなどを含めた人間性をさらに伸ばそう。
- 2 差別やいじめはもちろんのこと、卑怯・卑劣な行為は絶対にしない。
- 3 自らあいさつし、コミュニケーションをしっかりと行い、自分を理解してもらうとともに、他者の理解も深めよう。
- 4 学校・学級のルールを守り、話をしっかりと聞こう。
- 5 学ぶ意義や目的の理解を深めよう。教科における授業ルールを守り、主体的・積極的に授業を臨もう。加えて、読書をしよう。図書室の本を少なくとも月2冊借りて読むように努めよう。
- 6 メディアとうまくつき合う。調査では付き合い方に問題のある人もいた。スマホの利用頻度が高い人は「毎日使用しない」「使用時間は1時間を越えない」など改善を図ること。
- 7 自分の長所と課題を理解し、課題については、改善策をしっかりと考え、実行していこう。
- 8 新たな出会い(人、物、事)の機会をつくろう。多くのことに挑戦しよう。自分を成長させる取組を実践し継続しよう。
- 9 学級や部活動等の目標や方針、決まりを今一度、確認しよう。
- 10 2学期の目標を立て、それを達成するための方法を考え、実行していこう。



### 体育大会に向けて

第16回体育大会が9月10日(日)に行われる。そこで、保体部長に、大会に対する思いを語ってもらった。

保体部長 3年

初めての保体部長での体育大会。今とても緊張していますが、全力でがんばります。みんなが「楽しかった」と思えるような思い出深い体育大会にしたいと思います。

また、応援団員のみんなも夏休み後半、朝早くから登校し、応援の型づくりやダンスの振り付けに取り組んでいた。その他、各団の看板づくりや体育大会スローガンを書いた横断幕作成などそれぞれの役割に責任をもって向き合う姿が見られた。当日に向け、準備できる時間はあと5日と短いですが、これまでの係や応援団員の一生懸命な姿から、思いのぎゅっと詰まった素晴らしい体育大会が行われることが期待される。今から非常に楽しみである。まだまだ暑い日が続くようなので、熱中症予防など体調管理をしっかりとしつつ、121名で力を合わせ、「愉快活発 ～友とがんばる最高の瞬間～」を紡いでいこう。

### 好天の下、炬火リレー行われる

8月22日(火)9:30から大隅地区最後を飾る炬火リレーが錦江町役場駐車場をスタートし大根占周辺の周回コースで行われました。本校から参加した生徒は46名。先頭グループの隊長は、生徒会長、炬火ランナーは生徒会副会長で、大会旗4名、国体のぼり旗2本2名の8名が1組になってスタートし、9区間を67人のランナーで約1時間30分を駆け抜けました。沿道で多くの方々が声援を送っていらっしゃいました。大変暑く日差しの強い中ではありましたが、走り終えた選手の何人かに話を聞くと、「楽しかった」「よかった」と言う感想が実に多かったです。本大会は10月7日(土)より始まり、10月15日(日)には、鹿屋市、肝付町、錦江町、南大隅町の公道を用いて、自転車ロードレース競技が行われます。本大会に向けて、その機運をさらに高めていきましょう。

